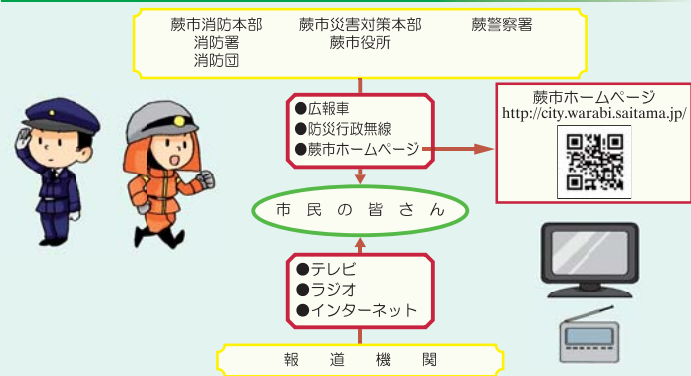


災害情報の伝達経路



伝言ダイヤルのご利用方法

災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板を覚えておこう！

家族・知人の安否を確認する
大災害発生時は、電話がかりにくい状況が数日続くことがあります。このような状況下では、「自分の安否を家族や知人に伝達する」ための「災害用伝言ダイヤル 171」や「災害用伝言板 web171」が開設されます。

災害用伝言ダイヤル171

伝言の録音方法
171 をダイヤル
「1」をダイヤル
※電話番号 (市外局番から)
「14」をダイヤル
伝言の録音
「9」をダイヤル

伝言の再生方法
171 をダイヤル
「2」をダイヤル
※電話番号 (市外局番から)
伝言の再生

伝言の登録方法
https://www.web171.jp/へアクセス
伝言を登録したい電話番号を入力
「伝言を登録する」をクリック
「おらがな氏名」「安否」「伝言」を入力
「伝言を登録する」をクリック

伝言の確認方法
https://www.web171.jp/へアクセス
伝言を確認したい電話番号を入力
「伝言を確認する」をクリック
伝言が表示されます

※電話番号は、ガイダンスが流れたら以下の番号を市外局番からダイヤルしてください。
被災地の方
ご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル
被災地以外の方
連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

web171 トップページ
https://www.web171.jp/

※詳細は「NTT 東日本 災害への取り組み」ホームページを確認してください。
https://www.ntt-east.co.jp/saigai/

災害用伝言板web171

伝言の録音方法
171 をダイヤル
「1」をダイヤル
※電話番号 (市外局番から)
「14」をダイヤル
伝言の録音
「9」をダイヤル

伝言の再生方法
171 をダイヤル
「2」をダイヤル
※電話番号 (市外局番から)
伝言の再生

伝言の登録方法
https://www.web171.jp/へアクセス
伝言を登録したい電話番号を入力
「伝言を登録する」をクリック
「おらがな氏名」「安否」「伝言」を入力
「伝言を登録する」をクリック

伝言の確認方法
https://www.web171.jp/へアクセス
伝言を確認したい電話番号を入力
「伝言を確認する」をクリック
伝言が表示されます

web171 トップページ
https://www.web171.jp/

※詳細は「NTT 東日本 災害への取り組み」ホームページを確認してください。
https://www.ntt-east.co.jp/saigai/

雨の強さと降り方の目安

	危険度 ↑				
イメージ					
1時間雨量 予報用語	10～20mm やや強い雨	20～30mm 強い雨	30～50mm 激しい雨	50～80mm 非常に激しい雨	80mm以上 猛烈な雨
人の受ける イメージや 影響	ザーザーと降るような雨です。	どしゃ降りのような雨です。傘をさしていてもぬれるようになります。	バケツをひっくり返したように降る雨です。傘をさしていてもぬれてしまいます。	滝のように降る雨です。傘が全く役に立たず、車の運転は危険です。	息苦しくなるような圧迫感を感じるような雨です。傘が全く役に立たず、車の運転は危険です。
屋外の様子	地面に水たまりができて始まります。	側溝や下水、小さな川があふれるようになります。	都市では下水道管から雨水があふれるようになります。避難の準備が必要になります。	マンホールから水が噴出した、地下室などに雨水が流れ込むなど多くの災害が発生するようになります。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強くなり、厳重な警戒が必要です。
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く場合は注意が必要です。	側溝や下水、小さな川があふれるようになります。	都市では下水道管から雨水があふれるようになります。避難の準備が必要になります。	マンホールから水が噴出した、地下室などに雨水が流れ込むなど多くの災害が発生するようになります。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強くなり、厳重な警戒が必要です。

(出典：気象庁 雨の強さと降り方)

！蕨市の下水道は、1時間雨量が55mmの雨に対応できるように整備を進めています。

気象注意報・警報・特別警報の発表基準

気象注意報・警報は熊谷地方気象台から発表されます。蕨市では、以下に示す基準が適用されます。
特別警報は、警報の発表基準をはるかに超える現象(50年に一度の大雨)に対して発表され、その発表基準は地域の災害対策を担う県知事や市長の意見を聞いて決められています。ただし、50年に一度の雨量となることのみで特別警報となるわけではありません。

対象となる災害	注意報	警報	特別警報
大雨	雨量基準 3時間雨量：4.0mm以上 土壌雨量指数基準(※) 9.7以上	雨量基準 3時間雨量：9.0mm以上	雨量基準 48時間雨量：34.0mm以上 3時間雨量：16.2mm以上 土壌雨量指数基準(※) 22.9以上
洪水	河川の増水や氾濫 堤防の損傷や決壊 雨量基準 3時間雨量：4.0mm以上	雨量基準 3時間雨量：9.0mm以上	

※土壌雨量指数とは、降った雨が土壌中にどれだけ貯まっているかを見積もった土砂災害の危険性を示した数値です。

避難時の心得

- ラジオやテレビ、インターネットで最新の気象情報や災害情報、避難情報を入手しながら、浸水の状況に注意し、自主的に避難しましょう。
- 半地下住宅では浸水によりドアが開かなくなることがあります。雨が降り始めたらすぐに地下下り開始するようにしましょう。
- 避難する前にガスの元栓や電気のブレーカーなど火の元の確認、戸締りを忘れずにしましょう。
- 避難する時は動きやすい服装で、ゴム長靴は水が入ると歩きにくくなるため、はき慣れた運動靴などで避難しましょう。
- 避難する時は2人以上で行動するように心がけ、家族はロープでつながるため、はき慣れた運動靴などで避難しましょう。
- 高齢者や子供、病気の方などは、要援助者の避難に協力するようにしましょう。
- 浸水はん蓋ではマンホールのふたが外れていることがあるので、杖などでさぐりながら避難しましょう。
- 水深が深くなると、水中で歩くことや、正常な車の運転ができなくなるので注意しましょう。
- 逃げ遅れたときは、自宅や近くの建物の2階以上に避難しましょう。無理に避難所に移動するのは、かえって危険になります。

蕨市

内水

ハザードマップ

Warabi city
Inland water-Hazard Map



蕨市内水ハザードマップは、台風や集中豪雨などによる雨水が下水道や道路側溝で排水しきれずに浸水(内水はん蓋)した場合に予測される浸水範囲や避難情報を示したものです。

平成27年2月

This map shows the evacuation information and expected inundation range from sewerage pipe or road gutter when the rainwater overflows by torrential rain and typhoon.

蕨市浸水(内水)防災地図は表示台風と暴雨等時、下水道及排水溝等来不及排水(内水氾濫)所造成的浸水范围的预测以及避难信息的行动指南。

マップについてのお問い合わせ先
下水道課
〒335-8501 蕨市中央5-14-15
電話 048 (433) 7726
FAX 048 (431) 6789
メール gesuidou@city.warabi.saitama.jp

内水ハザードマップ配布場所：市民活動推進室(市役所1階)、下水道課(市役所2階)、各公民館 蕨市のHPでも閲覧できます

水害への備え

ハザードマップを使って、避難場所や避難経路の確認をしておきましょう。

避難経路を実際に歩いてみて、危険な箇所がないか確認しておきましょう。特に、川沿いの道は大雨により浸水する可能性があるため、避難経路から外すようにしましょう。

台風や大雨に備えて、家の周りの点検・整備をしましょう。

家の周りに吹き飛ばされそうなものがないか、雨戸や雨どいが傷んでいないかを日ごろから点検・整備しておきましょう。

道路側溝や雨水ますの集水口の確認をしましょう。

大雨が予想されている時に、側溝や雨水ますの集水口にゴミや落ち葉などが詰まっている場合は、取り除いておいてください。また、側溝部分に車の乗り入れブロックなどを置くと、雨水の流れを阻害するのでやめましょう。

災害時の支援について地域の方と話し合い備えておきましょう。

高齢者や子供など、災害時に地域の助けを必要とする方のために、日ごろから近隣の方々と話し合い、援助の方法などを確認しておきましょう。

天気予報や気象情報に注意しましょう。

日ごろから、ラジオやテレビの天気予報や気象情報に注意し、天気の移り変わりに気をつけておきましょう。

地下空間への対策をしましょう。

地下室や地下駐車場といった地下空間は、災害時に浸水する可能性が高くなります。排水ポンプを設置するなどの対策をたてておきましょう。

防災訓練などに参加しましょう。

日ごろから防災意識を高めることで、いざという時に落ち着いて行動できるようになります。蕨市や地域で実施している防災訓練などに積極的に参加しましょう。

雨水流出抑制にご協力を。

宅地内に降った雨を地面に浸透させることで、下水道管の負担が軽減されます。家屋の新築時や建替え時には、浸透ますや浸透管を設置して雨水の流出抑制にご協力をお願いします。

家屋への浸水被害を防ぐために

浸水の初期段階では水深が浅いため、土のうや止水板で家屋への水の流入を防ぐことが有効となります。土のうや止水板は、ご家庭にあるもので作ることができます。

- 簡易土のう
土を入れたプランターや水を入れたポリタンク数個をレジャーシートなどで包み使用します。
- 簡易水のう
40リットル程度の容量のごみ袋を二重に重ねて、半分ぐらいまで水を入れてひもで閉めます。これを段ボール箱などに入れて使用します。

！浸水の水深が浅い時は有効となりますが、水深が深くなると危険ですので、浸水の状況に注意して早めの避難を心がけましょう。

非常持出品チェックリスト

避難時の持ち出し品を普段から準備しておきましょう。チェックリスト以外にも各ご家庭で話し合い、非常持出品を決めておきましょう。

非常持出品チェックリスト

- 内水ハザードマップ
- 杖など
- 現金(公衆電話用に小銭も)
- 鍵(家、自動車のスベアキー)
- 地図
- 携帯トイレ
- 身分証明書のコピー(免許証等)
- 雨具
- 懐中電灯
- 健康保険証のコピー
- 運動靴やスリッパ
- 携帯電話・充電器
-
- 衣類・下着
- 携帯ラジオ
-
- 軍手(滑り止め付)
- 水(必要最小限の分量)
-
- タオル
- 家族の連絡先
-
- ロープ
- 通帳・印鑑
-

合流地区における逆流現象

合流式下水道整備地区(裏面参照)では、豪雨などで下水道本管の水位が上がると宅内の配管が水で満たされるようになり、汚水や汚物がスムーズに流れなくなります。このときに、宅内からさらに排水をしようすると、宅内の配管内に貯まっていた空気が逆流して、ポコポコといった音がしたり、トイレの水が室内に押し出されることがあります。豪雨時だけではなく普段から対策をたてておくことで逆流現象の発生をおさえることができます。

1. 平常時における水位
2. 豪雨などで水位が上昇
3. 管内の空気が押し戻される
4. 押し戻された空気で便室内の水があふれる

宅内配管対策
●通気配管の設置

合流ます対策
●圧力解放蓋の設置

豪雨時の対策

トイレやお風呂の使用を極力控えるようにしましょう。また、トイレや風呂場、洗濯機の排水口などを水の中といった重しでふさいでおくことで、逆流を防ぐことができます。

普段からの対策

通気配管を設置して、宅内の配管内の空気を逃がすようにする。トイレの配管合流部のます蓋を、圧力解放蓋にする。

家族の連絡先

氏名	電話(勤務先・学校)	住所	メモ

内水はん蓋と洪水(外水)はん蓋

内水はん蓋

大量の雨が下水道に流れ込み、雨水を排水しきれずにマンホールや道路側溝などからあふれ出すことで発生する浸水です。近年では、集中豪雨の発生頻度が高くなってきているため、内水はん蓋が起こる可能性があります。

洪水(外水)はん蓋

台風や大雨で河川の水位が上昇し、想定している水位以上になると河川内の水が堤防を越えたり、堤防を決壊させることで発生する浸水です。

！大雨が降り続くと、内水はん蓋だけでなく洪水(外水)はん蓋が発生する可能性が高くなるので、「蕨市洪水ハザードマップ」についても確認をしておきましょう。